

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/10/05号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



3週連続で下落も、売買交錯が続く

NY原油先物相場は、1バレル=88～96ドル水準のレンジで売買が交錯する展開になった。3週連続で下落したが、概ね前週の取引レンジを踏襲する展開にとどまっている。米国とイランの停戦協議が注目されるが、大きな動きは報告されていない。仲介国のカタールが、米国とイランとの個別協議を行ったが、内容は明らかにされていない。米軍が中東に3隻目の空母と最大1万人の兵士を追加派遣するとの報道で買われる場面がみられたが、サウジアラビアなどの出荷が上向いているとの報告で売られるなど、強弱材料が交錯した。中国が10月に入ってから石油製品の輸出を停止しているとの報道を受けて買われる場面も見られたが、一時的な値動きにとどまっている。

主要7カ国（G7）は10月2日、ディーゼル燃料を中心に1億バレルの石油備蓄を4ヵ月かけて放出することで合意した。速やかに放出を開始し、特に最初の20日以内にディーゼル燃料の放出を大幅に前倒しすることになる。供給不足と価格高騰が深刻化しているディーゼル燃料の供給強化が目指される。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月25日時点）は、原油が前週比92万バレル増、ガソリンが168万バレル減、石油精製品が225万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

供給環境改善が上値圧迫するも、中東情勢次第で不安定

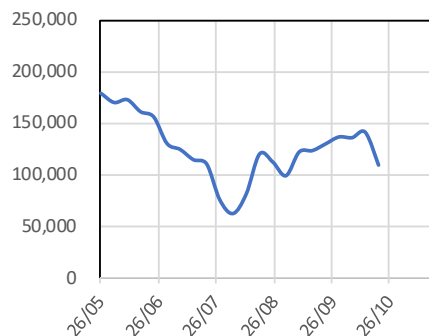
中東情勢に左右される不安定な地合が続く。米国とイランの停戦協議が注目されるが、情報が乏しい。米国とイランの双方から前向きな姿勢も報告されているが、合意に達するのには不透明感だ。11月3日には米中間選挙を控えているが、協議内容が報じられた際には、突発的な乱高下を想定しておく必要がある。

ただし、こうした停戦協議の議論とは別に、湾岸諸国からの原油輸出は強化されている。サウジアラビアは攻撃で稼働を停止していた東西パイプラインの復旧が進み、紅海側の港湾都市ヤンブーから欧州向けの出荷が再開されている。また、ホルムズ海峡のシャトル輸送も強化されており、9月の原油輸出量は戦争勃発後の最高水準になった模様だ。イラクやUAEなども出荷体制の強化を進めており、新たな軍事衝突の報告が聞かれない場合には、80ドル台中盤から後半で上値の重い展開になりやすい。

また、G7の石油備蓄放出は直ちに実施され、特にディーゼル燃料価格が落ち着きをみせると、原油相場でも調整売りが膨らみやすくなる。G7は既に決まった1億バレルに加えて、追加備蓄放出の可能性も検討しているため、備蓄放出の動きが材料視された際にも、上値の重い展開が想定される。

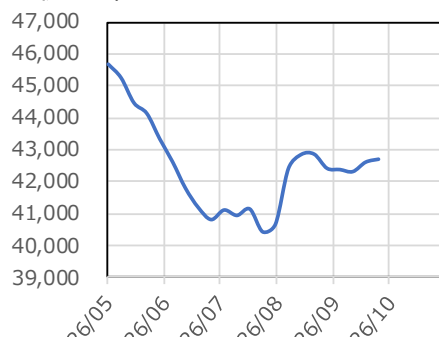
ただし、中東情勢は安定しているとは言い難い。イエメン武装組織フーシ派の動きは引き続き活発であり、サウジアラビアの石油関連施設が大きな被害を受けると、90ドル台中盤を試す可能性がある。また、ホルムズ海峡や紅海でタンカーに対する攻撃などが報告された際にも、急伸するリスクがある。強弱材料が交錯する中、前週に続いて不安定な地合が続きやすい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



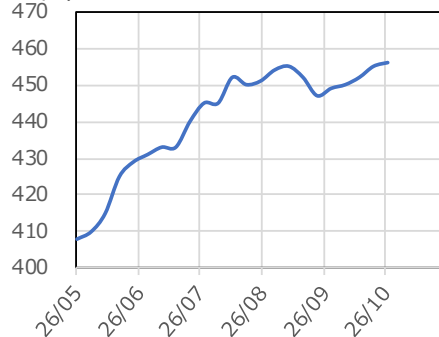
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

